

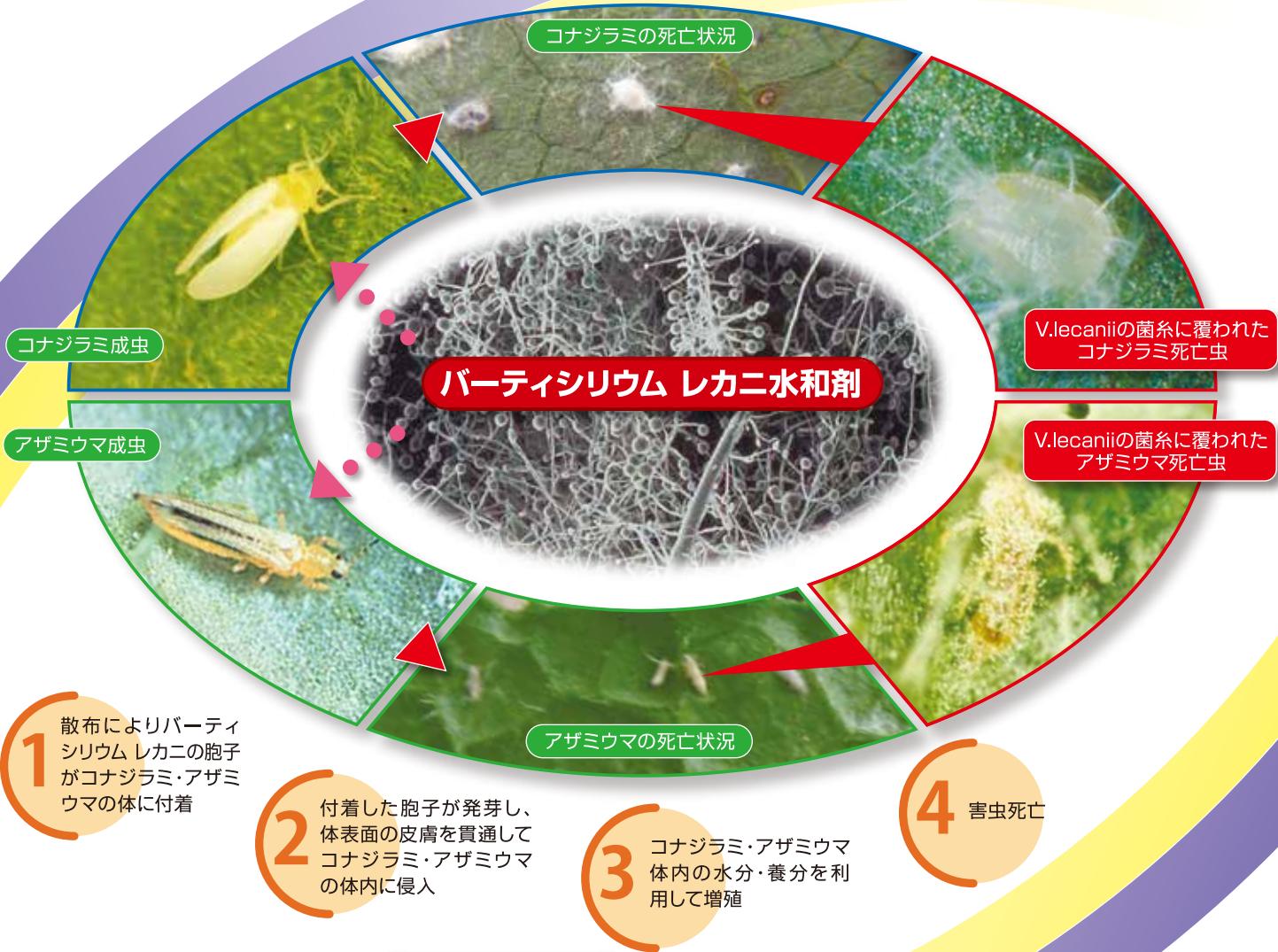
微生物によるコナジラミ類・ミカンキイロアザミウマの防除

マイコタール®

バーティシリウム レカニ水和剤 500g入

マイコタール®はアリストライフサイエンス株式会社の登録商標です。

有効成分及び含有量:バーティシリウム レカニ胞子… 3.0×10^9 spore/g



特長

- 有効成分である微生物(昆虫病原性糸状菌バーティシリウム レカニ)は薬剤抵抗性のついたコナジラミ類・ミカンキイロアザミウマに感染し、従来の殺虫剤と同等の高い防除効果を発揮します。
- JAS法に適合し農薬散布回数にカウントされませんので、有機栽培・特別栽培農産物等でもご使用いただけます。
- 好条件下では、バーティシリウム レカニは感染された害虫の死亡後、体外で胞子を形成します。胞子は水滴や徘徊する害虫に付着して広がるので、他の害虫へ二次的に感染が広がります。
- マルハナバチ・ミツバチ・天敵などへの影響が少ないので、環境に優しい剤です。

適用害虫と使用方法

(2022年12月現在の登録)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	パーティシリウム レカニを含む農薬の総使用回数
野菜類（施設栽培）	コナジラミ類	1,000倍	150~300ℓ /10a	発生初期	—	散布	—
マンゴー（施設栽培）	チャノキイロアザミウマ		200~700ℓ /10a				
きく（施設栽培）	ミカンキイロアザミウマ		150~300ℓ /10a				
トルコギキョウ（施設栽培）							

★上手な使い方★

散布液の調製

本剤の所定量を数リットルの水でよくかき混ぜてからタンクに移し、所定量の水を加えて希釈してから、速やかに散布します。希釈には水道水を使用しても問題ありません。

散布適期

害虫の発生初期および栽培初期の利用がおすすめです。春から秋の温度・湿度が高い時期、特に梅雨や秋雨、春の長雨期の散布が効果的です。高温・高湿度で管理される促成ピーマン等では冬期もお使いいただけます。



他剤との混用は下記の影響表をご参照ください。ただし散布24時間以後であれば影響のある薬剤も使用できます。

湿度管理

灌水を十分に行って蒸散を促し、葉裏の湿度が高まっている環境でご利用ください。過去に推奨されていた散布後のハウスの蒸し込みは不要です。

複数回散布

害虫の卵には感染しないので繰り返し散布する必要があります。7日程度の間隔で複数回散布してください。

散布部位

害虫に付着しないと効果が得られないでコナジラミやアザミウマが好んで生息する葉裏や花、生長点にかかるように十分量を散布します。

マイコタールに対する殺虫剤、殺菌剤の影響

	影響大きい	影響小さい
殺菌剤	アミスター、アリエッティ、アンビル、エムダイファー、オーソサイド、オンリーワン、カスミンボルドー/カッパーシン、キノンドー、サプロール、サンヨール、ジマンダイセン、ストロピー、ダコニール、チルト、ドイツボルドーA、トリフミン、デラン、パスワード、ペンコゼブ、ベンレート、モレスタン、ボリオキシン、ヨネボン、ラリー、ランマン、リゾレックス 及びこれらと同じ有効成分を含む混合剤	アフェット、アントラコール、エトフィン、カリグリーン、カンタス、コサイド、サンプロDM、ジャストフィット、ジャストミート、スクレア、スマレックス、セイビラー、ダイナモ、ネクスター、パレード、ピカット、ピクシオ、ファンタジスタ、ファンベル、フェスティバル、フルピカ、プロバティ、ベトファイター、ベルクート、ホライズン、モンカット、ライメイ、ラミック、ルビゲン、レーパス、ロブラー
殺虫剤	有機リン剤(オルトラン、スミチオン、ダイアジノン、マラソンほか) カーバメート剤(ミクロデナポンほか)、ダニカット	左記以外の殺虫剤、各種粒剤、ペイト剤 ※殺虫剤との混用で相乗効果が報告されています

本表は、日本生物防除協議会会員各社やその他の農薬メーカー、国内の公的試験研究機関、Koppert社、その他海外情報などの資料を元に、独自の解釈を加えて作成しました。
今後必要に応じて改訂される場合があります。表中に記載のない薬剤は影響が不明なので、混用散布は避けてください。

その他の注意事項（抜粋）

- トルコギキョウに使用する場合、葉液の付着により葉のクチクラ層のワックスが溶脱があるので、収穫間際の散布は避けてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかかるないようにしてください。
 - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園では使用を避けてください。
- ③関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 通常使用濃度より高濃度ではタイリクヒメハナカメムシに影響を与えるおそれがあるとの報告があります。

[保管] 本剤は入手後冷凍は避け、食品と区別して冷暗所（約5℃）に保存し、開封後は早めに使いきってください。

農薬は正しく使いましょう。	●ラベルをよく読んでください。	●ラベルの記載以外には使用しないでください。	●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
●空袋（空容器）は圃場などに放置せず、適切に処理してください。			

アリストライフサイエンス株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目4番1号

TEL.03-5203-9350

<https://www.arystalifescience.jp/>